

<平成 28 年度 議会報告会記録>

[日 時]平成 28 年 11 月 4 日(金) 午後 6 時 30 分～

[会 場]東部児童センター

[参加者数] 8 名

[担 当 者] 2 班： 大栗、 渋谷、日里、今、関野、佐藤 ( 班長、 副班長)

意見・要望・質疑事項など要旨	対応・回答の要旨	備 考
<p>(1)JR線の状況について報道された。議会として意見書を可決した。この富良野が上下分離方式及び廃止になると陸の孤島になる。地域の衰退化を懸念するし、以前の市長と議長に物申した経過がある。北海道は地域が広い、人口密度も少ないが、地域の足を守るということで民営化されている。真剣に受け止めて、はっきりとした対応を示して欲しい。意見書としてではなく反対表明して欲しい。</p>	<p>(1)JR輸送について、これは守っていこうとする意見書である。JR貨物も守りたい。パリ協定が発効されたが、CO2削減が求められる。旭川への通学事情も説明。沿線の首長と連携をした経過を説明。南富良野町長からは広尾港を使うには大切な路線であることを訴えていた。全員が鉄路を守ってくれと、声をあげて活動して参りたい。努力したい。</p>	
<p>(2)ふるさと納税、昨年はあまり前向きではなかったが、富良野市広報に書いてあった。どう前向きに変わったのか。</p>	<p>(2)富良野市も力を入れていく。今回は390件を予定し、税の基本は保ちつつ、特産品のPR、知名度の拡大のために予算を計上している。これまでは謝意を表すワインチーズを送っていた。ふるさと納税サイト(ふるさとチョイス)に参加、クレジット払いも可となった。返礼品は1万円だと3千円となっている。また、西脇市商品とのコラボレーションをする予定。西脇は先に取り組んでいる。</p>	
<p>(3)ふるさと納税は税金の奪い合いだ。入るものあるなら、出ていくものもある。出ていく金額はいくらあるのか。</p>	<p>(3)今回の決算委員会で示される。金額についてはもう少し時間下さい。</p>	

意見・要望・質疑事項など要旨	対応・回答の要旨	備考
(4)ふるさと納税ははじまって何年にもなるが、議会としてはどういった考えだったのか？(送品の拡充もお願いしたい。山部の特産品もつかって欲しい)。	(4)富良野を知っていただく切り口として、交流人口の拡大を期待し、取り組んで欲しいとする一般質問を議員数名が行ってきている。	
(5)市の花の制定について。今回決壊があった南富良野も広く「ふらの」であり、ラベンダーも富良野であり、ラベンダー市と言っても過言ではない。	(5)一般質問における質問趣旨と争点を説明する。	
(6)防災について、いま現在、富良野で防災の対象になっている箇所は？	(6)洪水ハザードマップの説明、土砂災害の危険箇所は北の峰町の一部にもあるので防災マップを確認して欲しい。	
(7)過去に浸水した際に、大量の雨があったときに、ゲートを下してポンプアップするための用地を用意したが、常設されていない。今後も逆流するかもしれない危険性がある。盆地の水があふれてきたときに、幾寅の堤防のように決壊がされては大変だ。人の命を大切にしたい。	(7)担当部署に伝えます。	
(8)政務活動費について、富良野市はどうなっているのか。政務活動費が無くても大丈夫ですか。	(8)政務活動費はありません。富良野市の為にとの思いで活動をしている。現在、支給について話題にはなっていない。	
(9)防災計画自体の見直しが必要ではないか。安心メールの登録は行政が手伝ってくれるといいのに。	(9)山部では避難所のこと、北の峰では収容人員が少ないことなど、地域によって意見が出てきている。日中の対策と夜中の対策、巡回の声が聞こえにくいなど、情報発信の実態を確認している。安心安全メール登録が350件ほど増えた。43団体の自主防災組織、機能を含めて検証をしている。安心メールは市に行けば対応してくれる。閉会后、大栗議員が個別に設定登録し	

意見・要望・質疑事項など要旨	対応・回答の要旨	備考
(10)災害の中でも南富良野を教訓にして欲しい。堤防から水が染み出ているところは見えていないと思う(富良野高校の裏)。しっかりと確認をしていただいて、こういう状況だよというところを感じて欲しい。北1号川の増水もそう。危険を感じたときに連絡はどうしたらいいのか。	<p>ます。</p> <p>(10)危険を感じた際の情報は、災害対策本部に連絡をして欲しい。危険な場所には近づかないようお願いいたします。</p> <p>担当部署に伝えます。</p>	
(11)人口減少対策は今までも問題となってきた。昨年、企業誘致をやっていると言っていたが、コールセンター・ITを探ると言っていた。今年はホテルと言っている。	(11)企業誘致は企画振興課が担っている。移住も振興課、商工会議所も移住について連携している。	
(12)魅力度ランキングの活用について	(12)ブランド総合研究所は、インターネットで20代から70代と地域性を考慮した30,372人から回答を得た。今まで積み上げた北の国からなどイメージである。景観と生活が絵になる。人が良いなど。良さを感じている。しかし実際の住みよさランキングは低い。	